

書道クラブができたのが昭和46年といいますが、もう20年の活動歴をもっています。クラブ員は13名で30歳代から80歳代まで、男女とも各年齢層の方が学んでおり、年齢差を超えた家族的な雰囲気をもったクラブです。

町民文化祭の作品にみられるように相当地な書家がそろって、師範クラスも何名か。浅野先生の指導により、毎月、書道芸術院誌に競書を提出しており、写真版で載る作品も出ています。

このほか、春秋2回の進級試験があり、苦勞もあるようですが、それだけに上達も早く、書を通しての生きがいにつながっているようです。浅野先生は高齢ですが、意欲的な先生で、一字一句熱心な指導で、クラブ員に親われています。

3時にはお茶とお菓子で一息、このひとときがまた楽しみで、クラブ員の心をつなぎ、

筆をもつと

心なごみます

励みとなつていようです。「つらいときでも硯に向かつて正座し、静かに墨をすつて」と心が落ち着き、筆を持つことよつて心がなごんできます。とクラブ長の鈴木さん。

これから書を買つてみたい人、初心者も大歓迎です。仲間になりませんか。

活動日 毎月第2・第4日曜日
午後1時～4時
指導者 浅野翠城先生（屋形立会在住）

書道クラブ



この字はここがポイントです。気をつけてください

公民館クラブ紹介 ⑮

長生きする秘訣です



今が行方不明の時間かも

将棋クラブ

15年前の大会がきっかけで生まれた将棋クラブ。現在クラブ員は20名で、毎月1回の例会を開いています。

例会当日は、他町村の人も参加し、交流の和を広げたいです。参加者のレベルもまちまちで、その人の棋力に応じて対局できるので、だれでも気軽に参加できます。

また、対局は五番勝負で、点数により順位を決めるため、みなさん真剣で、それだけに終わった後の話しも楽しくはずむようです。

初代会長で、すでに故人となられた宇多幹男先生は、クラブ連協だより「4号に記しています。

「ある作家が「人間一日の中、1時間でも2時間でも行

会費 月額1000円
問い合わせは桜井勝雄さん
(☎0226)へ。

活動日 毎月第3日曜日
午前9時～午後4時
指導者 顧問 藤代五段
(上町在住)